

熊本市・植木町 新市基本計画【概要版】 (植木地域)



新市基本計画とは、

現植木町の地域を中心に、熊本市と植木町との合併後の新市の更なる飛躍をめざし、円滑な運営を確保するとともに、均衡ある発展を図ることを目的として、新市が進むべき方向性を示す計画です。

この新市基本計画がめざすまちの姿は、

近代日本の夜明け、日本一のすいか、癒しの温泉…
歴史とロマンにあふれ、さまざまな魅力で人々をいざない
未来へ発展する新市の北の拠点

平成21年6月

熊本市・植木町合併協議会

新市で特に重点的に取り組む分野と重点施策

本地域のめざすまちの姿を実現するため、今後、合併期日の属する年度から10カ年度中に特に重点的に取り組む分野と重点施策を例示しています。

1 健康で、いきいきと安心して暮らせる癒しのまちづくり

少子高齢社会に対応し、本地域の豊かな自然、伝統ある歴史、温泉などの特性を生かし、子どもから高齢者まで、だれもが心豊かに健康でいきいきと暮らせるまちづくりを進めます。そこで、住民の保健・福祉サービスの充実を図り、拠点施設の機能強化や公園やスポーツ施設などの体力・健康づくり拠点の整備などに取り組むとともに、高齢者などが気軽に外出できる環境づくりに努めます。また、次代を担う子どもたちがのびのびと遊び、楽しく学ぶために、学校教育環境の整備を進めます。

さらに、地域力を強化し、暮らしの安全・安心と住民参加のまちづくりを進めるため、町内自治会制度への円滑な移行を始めとした地域コミュニティの強化を進めます。

主 な 取 り 組 み

① 保健・医療の拠点施設の機能充実

・住民の健康と医療を守るため「健康福祉センター(かがやき館)」や「植木病院」、「熊本市民病院」の連携を強化し、それぞれの機能を充実します。

② 地域福祉の充実

・ふれあいいいきいきサロンを充実し、高齢者の生きがいづくりや介護予防などに取り組みます。

③ 子育て環境の充実

・子育て支援センター、つどいの広場や保育園などを拠点に地域で支える子育て支援を進めるとともに、母子訪問指導や健康診査などを通じ子どもを安心して産み育てる環境を整備します。

④ 自然環境の保全

・河川や森林などに生息する貴重な野生生物などの生態系の維持を図りつつ自然保護・啓発に努め、身近な自然あふれるまちづくりを進めます。

⑤ 体力・健康づくり拠点の計画的な整備

・旧国立蚕糸試験場跡地に各種スポーツが楽しめ、体力・健康づくりや住民憩いの場の計画的な整備を進めます。

⑥ コミュニティバスの運行検討

・高齢者などが気軽に外出ができるよう、現植木町役場などの公共施設やJR植木駅など公共交通機関を結ぶコミュニティバスの運行検討に取り組みます。



⑦ 教育環境の充実

- ・小中学校の校舎、体育館、運動場などの計画的な改修を行い、子どもたちが生き生きと楽しく学べる教育環境の充実を図ります。
- ・ALT(英語指導助手)を活用した**小学校英語教育**を新市のモデルとして本地域で取り組みます。
- ・**ブックスタート事業**を始めとした図書館活動を通じ、子どもの頃から読書を身近なものとするよう取り組みます。

⑧ 地域コミュニティセンターを核とした地域コミュニティづくり

- ・嘱託員制度から町内自治会制度への円滑な移行、自主防災組織の設置など、**校区自治協議会と地域コミュニティセンターを核とした地域力強化**を図ります。

2 新市の北の拠点にふさわしい交流のまちづくり

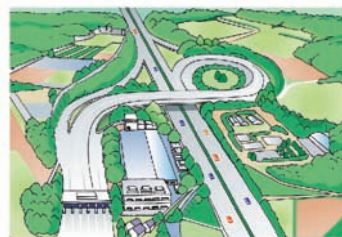
九州中央の広域道路網が集積する環境を生かし、新市の北の拠点として、広域道路網の結節機能の強化や拠点性の向上など、**多くの「人」、「もの」、「情報」が行きかう交流のまちづくり**を進めます。

このため、国道3号植木バイパスの早期完成をめざすとともに、国道3号植木バイパスや植木インターチェンジとのアクセス道路など、広域道路網の整備に努めるほか、地区計画などを活用しこれらの広域交通拠点周辺の企業立地を推進します。

主 な 取 り 組 み

① 広域道路ネットワークの整備

- ・新市の北の玄関口として九州縦貫自動車道の機能が最大限発揮されるよう、植木インターチェンジを生かした**広域道路ネットワークの整備**とともに、北熊本サービスエリアへの**スマートインターチェンジの設置**に向けた取り組みを進めます。



- ・県道大津植木線から植木インターチェンジへのアクセスを強化するため、**県営東部農免道路などの整備**を促進します。

- ・**国道3号植木バイパスの早期完成**をめざして関係機関と協力して取り組むほか、**都市計画道路一木鞍掛線の整備**などによる国道3号植木バイパスへのアクセスを強化します。

- ・**県道大津植木線から現植木町役場や町道植木古閑線バイパスの整備**など、植木地域中心部(現植木町役場)へのアクセスを強化します。

② 企業立地の推進

- ・植木インターチェンジや国道3号植木バイパスと県道大牟田植木線との交差点周辺などの広域交通拠点周辺について、地区計画制度などを活用した**工業・流通系企業の誘導や、工業用地造成の検討**、**熊本市企業立地促進条例に基づく助成制度の活用**、さらには**トップセールス**などにより企業誘致を進めます。

3 人々が集いにぎわう、活気あふれるまちづくり

現植木町役場周辺や中心商店街周辺の整備を行い、人々が集いにぎわう活気あふれるまちづくりを進めます。

そこで、植木土地区画整理事業などの各種施策や事業を展開するとともに、現植木町役場周辺やJR植木駅周辺の機能強化などに取り組みます。

主 な 取 り 組 み

① 中心市街地の活性化

・植木土地区画整理事業について、現在の認可区域の早期完成など、植木町中心市街地活性化のための各種施策、事業を進めます。



② 現植木町役場とJR植木駅との連携強化と交通アクセスの充実

・現植木町役場周辺におけるバスベイ、JR植木駅周辺における駐輪場、パークアンドライド施設、公共交通機関の乗り入れ施設(ロータリー)、現植木町役場からJR植木駅を結ぶコミュニティバスの運行など、より有効な事業手法を検討しながら公共交通機関の利便性の向上に向けた取り組みを進めていくほか、都市計画道路植木停車場投刀塚線の整備を進めます。



4 歴史とロマン、すいか や温泉など、植木ならではの魅力あふれるまちづくり

本地域には、日本一の「植木すいか」など施設園芸を中心とした豊かな農産物、県内外の多くの方から高い評価を得ている植木温泉、西南の役最大の激戦地であり、また日本赤十字社の前身の博愛社発祥の地である田原坂など、国内外にアピールできるたくさんの素材があります。これらの農産物や観光資源は、新市のまちづくりに欠かせない貴重な地域資源となります。

そこで、熊本城と一体となったストーリーづくりなど素材の魅力をさらに高めるとともに、国内外に広く情報発信するなど、植木ならではの魅力にあふれたまちづくりに取り組みます。

主 な 取 り 組 み

① 「植木すいか」など地域ブランドの確立と情報の発信

・基幹産業である農業を振興するため、農商工連携を図り「植木すいか」をはじめ特産品のブランド化による販路拡大に取り組みます。

・幹線道路沿線に、農産物の直売、加工、レストランなどを併設した「(仮称)農産物の駅」の整備を図ります。



② 新たな観光ルートのPRや観光資源の魅力向上などによる観光振興

・「熊本城～田原坂～植木温泉」などを中心とした観光ルートを積極的にPRし、観光の振興を図ります。

・田原坂の国指定史跡化、資料館の改築、植木温泉内の観光案内所(足湯の併設)の整備、観光と農業の連携など、観光地の魅力向上を図ります。

・町道慈恩寺平島橋線を含む国道3号から植木温泉へのアクセス道路の整備を図ります。



新市で取り組む主要事業

本地域のめざすまちの姿を実現するために、各分野において取り組む「新市の施策」を以下のように掲げ、そこで取り組む事業のうち主なものを「主要事業」として例示しています。

各主要事業の記号について

- ◎ …… 植木地域における新規事業
- …… 市制度統一に伴う植木地域新規・拡充事業
- …… 植木地域において既に行われている事業

1 一人ひとりの人権が等しく尊重され、わけ隔てなく参画できる社会の実現

主要事業

- 人権教育啓発推進事業
- 男女共同参画推進啓発事業



2 ともに支え合い、文化に親しみ安全で安心して心豊かに暮らせる生活の実現

主要事業

- 町内自治会活動支援事業
- 芸術文化出張講座事業
- まちづくり活動支援事業
- 地域魅力アップ推進事業



3 生涯を通して健やかで、いきいきと暮らせる保健・福祉の充実

主要事業

- 熊本市優待証(さくらカード)交付事業
- 生きがい活動推進事業
- 各種健康診査事業
- 植木病院事業
- ふれあいいきいきサロン事業



4 子育てしやすく、子どもたちの健やかな成長をはぐくむ環境づくりの推進

主要事業

- 病児・病後児保育事業
- 乳幼児医療費助成事業
- 地域子育て支援拠点事業
- ひとり親家庭等医療費助成事業



5 豊かな人間性と未来を切り拓く力をはぐくむ教育の振興

主要事業

- ◎ 体力・健康づくり拠点整備事業
- 育英奨学金(育英事業)
- 少人数学級事業
- 学校施設改修事業
- 小学校英語活動推進事業
- 田原坂健康マラソン事業
- 図書館運営事業
- ブックスタート事業



6 水と緑の良好な環境の保全と循環型社会の構築

主要事業

- 家庭用雨水貯留施設整備事業
- ごみ収集施設整備に関する補助事業
- 漱石の森づくり事業
- 資源ごみ分別収集運営費助成事業
- 太陽熱温水器設置補助事業



7 地域の活力をつくりだす産業・経済の振興

主要事業

- ◎ 農産物の駅(仮称)建設事業
- 田原坂ウォークラリー事業
- ◎ 企業誘致(基盤整備事業)
- 「田原坂」の国指定史跡化(フィールドミュージアム)
- ◎ 田原坂資料館改築事業
- すいか祭りなどの交流型農業イベント開催
- ◎ 観光案内所建設事業
- 植木温泉納涼花火大会助成事業
- 基盤整備事業(南尾迫地区)
- 企業立地促進事業
- 中小企業振興助成事業
- 農道整備事業(植木東部地区)
- 地域ブランドづくり
- はってん祭事業
- 中心市街地の活性化



8 安全でだれにも優しく使いやすい都市基盤の充実

主要事業

- ◎ 公共交通体系の整備
 - ・パークアンドライド施設整備事業
 - ・バスベイ整備事業
 - ・植木駅前公共交通機関乗り入れ施設(ロータリー)整備事業
- ◎ コミュニティバス事業
- ◎ 街なか居住・街並み形成推進事業
- ◎ 賃貸集合住宅整備費助成事業
- 植木中央土地区画整理事業
- 基幹的道路網の整備(国道3号植木バイパスの全線開通)
 - ・道路整備事業(都市計画道路及び幹線道路の整備)
- 上水道事業
- 公共下水道事業



新市の今後の財政計画

この財政計画は、新市の一体的・持続的な発展に向けた財政上の指針となるもので、平成21年度から平成30年度までの見通しを普通会計ベースで推計しました。

策定にあたっては、現行の制度・施策を基本としながら、確実に見込まれる制度改正などを織り込み、さらに、国・県の財政支援措置や経費削減効果などの合併に伴う影響と「新市基本計画」に掲げている事業計画を反映しました。

【歳入】		平成21年～30年度合計	【歳出】		平成21年～30年度合計
市 税		9,762億円	義務的経費	人 件 費	4,385億円
地方交付税		3,240億円		扶 助 費	5,897億円
国・県支出金		4,659億円		公 債 費	3,311億円
市 債		2,468億円		投資的経費	3,101億円
そ の 他		3,173億円		うち植木地域	195億円
歳入合計		2兆3,302億円	そ の 他	6,608億円	
			歳出合計		2兆3,302億円

歳入と歳出の金額が同額であり、収支均衡した財政計画となっています。

※なお、本財政計画は、平成21年度の当初予算を基準としたものであり、今後、状況の変化などにより若干の変動も想定されます。

◆ 植木地域における投資的経費の内訳

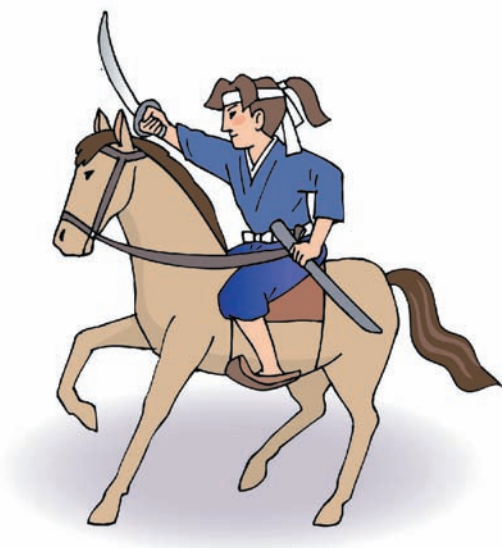
※各事業費については、計画策定時の想定事業費です。

	事業名	事業費
新市計画重点事業分	植木中央土地区画整理事業	約64億円
	体力・健康づくり拠点整備事業	約33億円
	道路整備事業(都市計画道路及び幹線道路の整備)	約15億円
	学校施設改修事業	約10億円
	農産物の駅(仮称)建設事業	約5億円
	田原坂資料館改築事業	約4億円
	植木駅前公共交通機関乗り入れ施設(ロータリー)整備事業	約2億円
	賃貸集合住宅整備費助成事業	約2億円
	農道整備事業(植木東部地区)	約2億円
	観光案内所建設事業	約4千万円
	街なか居住・街並み形成推進事業	約3千万円
	バスベイ整備事業	約2千万円
	パークアンドライド施設整備事業	約1千万円
	小計	約138億円
その他の事業分(経常的に実施する道路維持等)	約57億円	
植木地域における投資的経費総額	約195億円	

さらに、

企業会計分	上水道事業	約38億円
	公共下水道事業	約57億円
植木地域における投資的経費総額(企業会計分も含む)		約290億円

といった事業を計画しています。



熊本市・植木町合併協議会

